



2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月4日

上場会社名 西尾レントオール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9699 URL http://www.nishio-rent.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 公志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役本社管理部門管掌 兼 社長室長 (氏名) 四元 一夫 TEL 06 (6251) 7302
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	115,543	1.5	10,035	△14.5	9,718	△14.0	5,816	△18.2
2019年9月期第3四半期	113,882	13.4	11,740	8.8	11,298	6.2	7,107	8.0

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 5,029百万円 (△32.4%) 2019年9月期第3四半期 7,439百万円 (12.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	209.63	209.47
2019年9月期第3四半期	253.56	253.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	227,334	102,351	43.5
2019年9月期	214,944	99,225	44.6

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 98,879百万円 2019年9月期 95,789百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	—	—	77.00	77.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,540	△2.2	10,800	△31.0	10,100	△32.8	5,770	△40.5	207.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期3Q	28,391,464株	2019年9月期	28,391,464株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	642,951株	2019年9月期	644,492株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期3Q	27,747,911株	2019年9月期3Q	28,028,931株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき予測したものであり、リスクや不確定要素が含まれており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、当社グループを取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等により実際の業績が記載の金額と大幅に異なる可能性がありますのでご承知おきください。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信 [添付資料] 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年6月30日)におけるわが国経済は、企業収益や設備投資が堅調に推移していましたが、新型コロナウイルス感染症により世界経済は急減速しており、経済活動再開の動きはあるものの、景気の回復には時間を要すると見込まれます。

建設業界においては、一部で新型コロナウイルス感染症による工事の中止・遅れはあったものの、交通インフラ新設・補修工事や物流倉庫・工場等の建築工事に加え、災害復旧・防災関連工事が進みました。

このような状況下、当社グループ(当社及び連結子会社)は、国内市場の深耕のため、ICT施工・i-Constructionやインフラメンテナンス、プラント分野ではオリジナル商品・システムの充実や無人店舗を含めたネットワークの強化に、イベント分野ではイベント需要に左右されない倉庫用テントの拡大や動画配信サービスの対応等に注力しております。また、海外においては、日本以上に厳しい外出制限による影響を受けたものの、東南アジア・オーストラリア市場の再構築を図っております。

その結果、国内建機レンタル事業の底堅い需要とともに、イベント分野や海外事業における新型コロナウイルス感染症による影響も踏まえた見通しに対しては、堅調に推移し、連結売上高は115,543百万円(前年同四半期比101.5%)、営業利益10,035百万円(同85.5%)、経常利益9,718百万円(同86.0%)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,816百万円(同81.8%)となりました。また、EBITDAは33,624百万円(同102.0%)と引続き増加となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

[レンタル関連事業]

道路・土木関連分野では、各地の交通インフラの新設・補修工事を着実に受注したことに加え、災害復旧・防災関連工事における公園・グラウンドの土砂除去工事や河川工事等の対応、地元開拓により、ICT施工関連売上も伸び、売上は堅調に推移しました。

建築・設備関連分野では、都内の再開発工事は現場が順次竣工しており、想定どおり一時的な稼働の谷間ではありますが、他のエリアの物流倉庫や工場、商業施設等の新築工事は順調に推移しており、売上を確保しました。プラント分野では大型火力発電所建設工事において揚重機や車両を中心に受注し、売上は高水準で推移しました。

イベント分野では、イベントの自粛が続くなか、倉庫用テントが感染症対策として医療施設や役所等の臨時施設でも活用され、イベント以外への用途が拡大した他、トレーラーBOXやサーモグラフィ等も受注しました。その他、無観客イベントに対応できる動画配信サービスに向けた映像機器の提案に注力しました。

その結果、売上高は112,421百万円(前年同四半期比101.7%)、営業利益9,709百万円(同86.6%)となりました。

[その他]

バッテリー機関車や海外製ショベルの販売があったものの、大型土木現場の遅れによる影響も受けました。

その結果、売上高は3,122百万円(前年同四半期比93.2%)、営業利益270百万円(同53.2%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、227,334百万円と、対前連結会計年度末比で105.8%、12,389百万円の増加となりました。主な要因は現金及び預金の増加1,380百万円、原材料及び貯蔵品の増加1,240百万円、流動資産・その他に含まれる設備立替金の増加2,430百万円、貸与資産の増加3,184百万円、土地の増加7,770百万円及び有形固定資産・その他に含まれる社用リース資産の増加1,297百万円、並びに受取手形及び売掛金の減少5,135百万円であります。

負債合計は、124,983百万円と、対前連結会計年度末比で108.0%、9,264百万円の増加となりました。主な要因は流動負債・その他に含まれる未払金の増加1,033百万円、長期借入金の増加8,833百万円及びリース債務の増加4,283百万円、並びに支払手形及び買掛金の減少2,695百万円及び未払法人税等の減少2,144百万円であります。

純資産合計は、102,351百万円と、対前連結会計年度末比で103.1%、3,125百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年5月8日に「2020年9月期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,673	33,053
受取手形及び売掛金	42,704	37,568
商品及び製品	2,519	2,023
仕掛品	1,309	1,323
原材料及び貯蔵品	1,202	2,443
その他	8,372	11,433
貸倒引当金	△441	△409
流動資産合計	87,340	87,436
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	72,660	75,844
土地	25,881	33,652
その他(純額)	18,756	20,396
有形固定資産合計	117,298	129,892
無形固定資産		
のれん	3,240	2,528
その他	1,289	1,191
無形固定資産合計	4,530	3,719
投資その他の資産		
その他	6,151	6,680
貸倒引当金	△375	△394
投資その他の資産合計	5,775	6,285
固定資産合計	127,604	139,897
資産合計	214,944	227,334
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,945	20,249
短期借入金	4,467	4,010
1年内返済予定の長期借入金	5,051	5,218
1年内償還予定の社債	466	386
リース債務	11,592	12,899
未払法人税等	3,155	1,011
賞与引当金	2,329	1,673
役員賞与引当金	157	109
災害損失引当金	—	42
その他	21,303	23,687
流動負債合計	71,468	69,289

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
固定負債		
社債	1,396	1,200
長期借入金	12,828	21,494
リース債務	27,338	30,315
役員退職慰労引当金	221	229
退職給付に係る負債	772	829
資産除去債務	872	939
その他	820	684
固定負債合計	44,250	55,693
負債合計	115,718	124,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	9,559	9,615
利益剰余金	80,520	84,394
自己株式	△1,925	△1,921
株主資本合計	96,254	100,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164	205
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	△633	△1,515
その他の包括利益累計額合計	△465	△1,309
新株予約権	30	30
非支配株主持分	3,406	3,441
純資産合計	99,225	102,351
負債純資産合計	214,944	227,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	113,882	115,543
売上原価	67,592	68,568
売上総利益	46,289	46,974
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	134	99
給料及び賞与	13,592	14,331
賞与引当金繰入額	1,424	1,587
役員賞与引当金繰入額	120	110
退職給付費用	330	406
役員退職慰労引当金繰入額	19	30
その他	18,927	20,372
販売費及び一般管理費合計	34,549	36,938
営業利益	11,740	10,035
営業外収益		
受取利息	42	40
受取配当金	15	17
その他	423	540
営業外収益合計	482	597
営業外費用		
支払利息	634	750
為替差損	177	59
その他	112	104
営業外費用合計	924	914
経常利益	11,298	9,718
特別利益		
固定資産売却益	17	98
関係会社株式売却益	21	—
収用補償金	—	25
受取保険金	—	55
特別利益合計	39	179
特別損失		
固定資産除売却損	42	144
災害による損失	—	178
特別損失合計	42	323
税金等調整前四半期純利益	11,294	9,574
法人税、住民税及び事業税	3,869	3,299
法人税等調整額	33	217
法人税等合計	3,902	3,516
四半期純利益	7,391	6,057
非支配株主に帰属する四半期純利益	284	240
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,107	5,816

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	7,391	6,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50	41
繰延ヘッジ損益	7	△2
為替換算調整勘定	90	△1,067
その他の包括利益合計	47	△1,028
四半期包括利益	7,439	5,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,111	4,967
非支配株主に係る四半期包括利益	327	62

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(国際財務報告基準第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間の期首より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。

IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告 セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レンタル関連 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	110,531	3,350	113,882	—	113,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23	307	331	△331	—
計	110,555	3,658	114,213	△331	113,882
セグメント利益	11,209	508	11,718	21	11,740

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鋸螺類の製造、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額21百万円には、セグメント間取引消去21百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「レンタル関連事業」セグメントにおいて、UNITED POWER & RESOURCES PTE. LTD. の株式を取得し、同社を当社の連結子会社としたことにより、のれんが1,957百万円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告 セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レンタル関連 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	112,421	3,122	115,543	—	115,543
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	234	252	△252	—
計	112,439	3,356	115,796	△252	115,543
セグメント利益	9,709	270	9,980	55	10,035

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鋸螺類の製造、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額55百万円には、セグメント間取引消去55百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。